

自転車の利用環境に関する まちづくりアンケート結果について

1 アンケートの概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 名称 | 令和5年度 まちづくりアンケート |
| (2) 目的 | 市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、優先度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの(昭和57年度から毎年度実施) |
| (2) 調査対象 | 長野市内に在住の18歳以上の男女 |
| (3) 標本の抽出 | 住民基本台帳(令和5年8月16日現在)からの等間隔無作為抽出 |
| (4) 標本総数 | 5,000人 |
| (5) 調査方法 | 返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式 |
| (6) 調査期間 | 令和5年8月25日(金)から9月8日(金)まで |
| (7) 回収結果 | 回収標本数 3,089通
回収率 61.8% |

2 現行計画策定時（前回）のアンケートとの比較

	今回（令和5年度）	前回（令和元年度）
名称	令和5年度 まちづくりアンケート	自転車の利用に関する 市民アンケート調査
目的	市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、優先度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの  市政全体に関するアンケート	長野市自転車活用推進計画の策定にあたり、長野市内の自転車交通の現状及び市民等の意識を把握し、計画策定に反映させること  自転車活用推進計画策定のためのアンケート
設問内容	自転車のほか、博物館・選挙・都市ブランドなど多岐にわたる	自転車に関する設問のみ
調査対象	長野市内に在住の18歳以上の男女	長野市内在住の20歳以上の男女
標本総数	5,000人	2,639人
調査期間	令和5年8月25日（金）から 9月8日（金）まで	令和元年11月13日（水）から 12月2日（月）まで
回収結果	回収標本数 3,089通 回収率 61.8%	回収標本数 945通 回収率 35.8%

調査分析結果

保有している自転車のタイプ

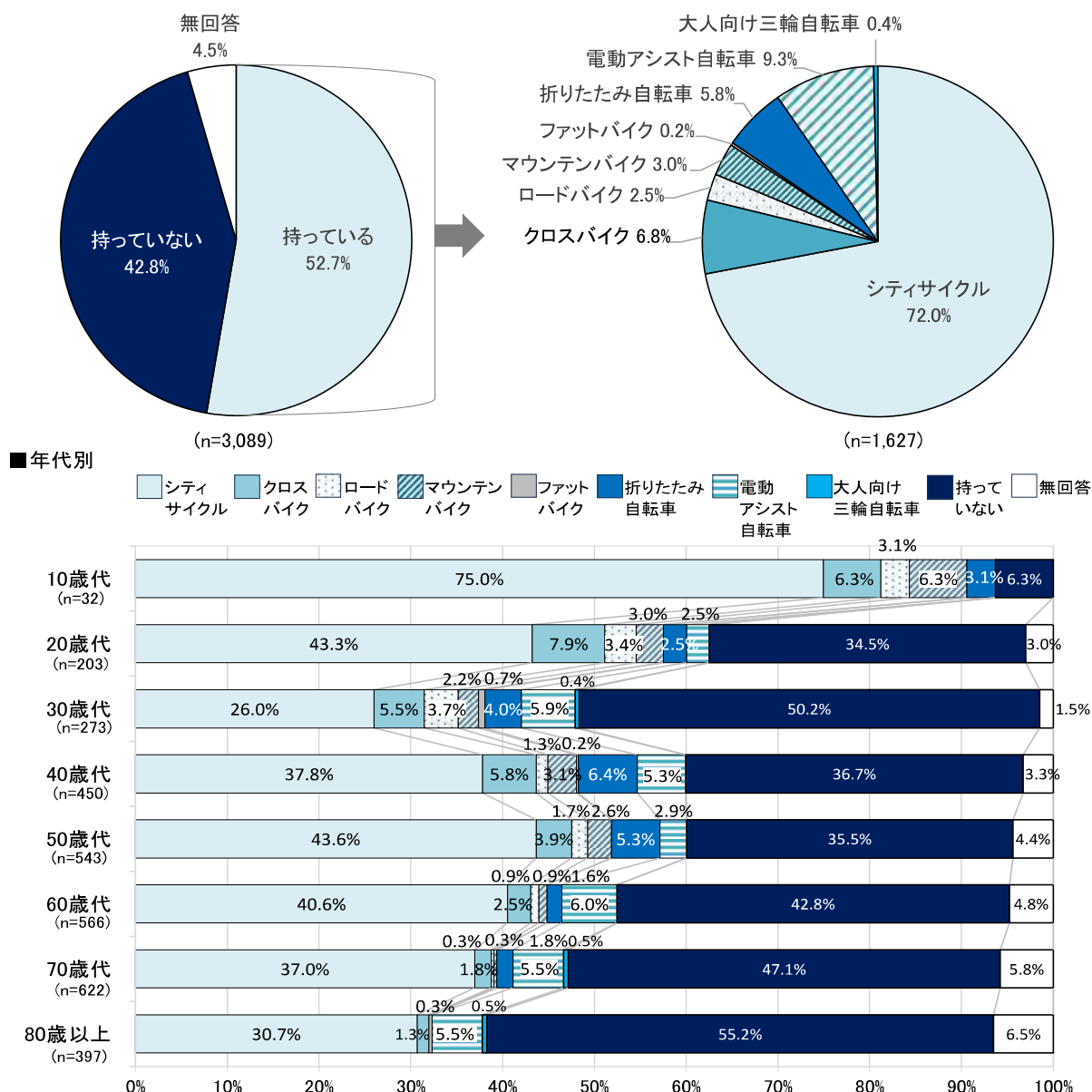
問1

あなたは、どのような自転車を保有していますか。次の中から、よく利用するタイプの自転車を1つだけ選んでください。なお、モーター（電動機）がついた二輪の自転車は、種類に関わらず「電動アシスト自転車」と回答してください。

保有している自転車のうち、よく利用するタイプの自転車を1つ選んでもらった。選択肢のうち、自転車を選んだ（持っている）人は合計 52.7%で、「持っていない」は 42.8%だった。

自転車を持っている人のうち、最多は「シティサイクル」の 72.0%で、「電動アシスト自転車」が 9.3%、「クロスバイク」が 6.8%、「折りたたみ自転車」が 5.8%で続く。

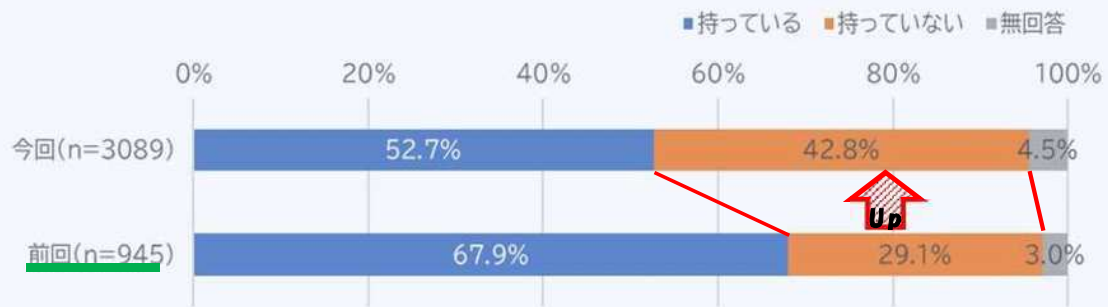
年代別では、10 歳代は「シティサイクル」が 75.0%と高い。30 歳代と 80 歳以上は「持っていない」がそれぞれ 50.2%、55.2%と半数を超える。



【前回との比較】

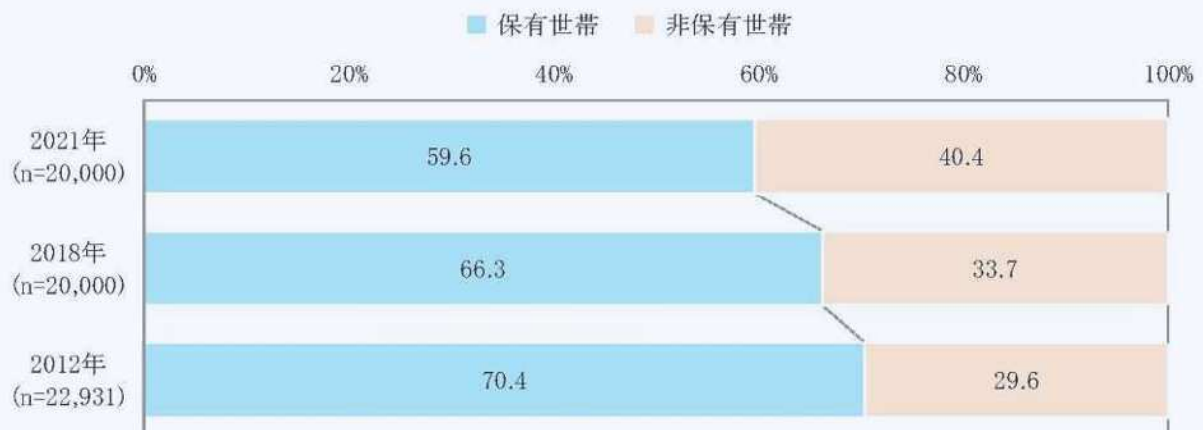
1 「持っていない」と答えた人の大幅な増加

「持っていない」は前回調査の「持っていない」（＝使用できる自転車はない）に比べて 13.7 ポイント上昇している。



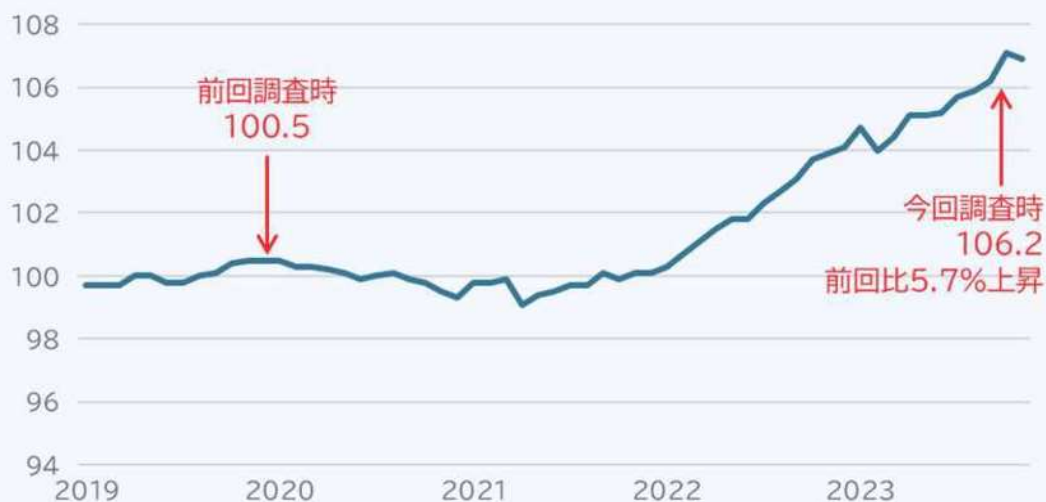
自転車の所有割合が低下しているのは、全国的な傾向である。（一社）自転車産業振興協会のまとめによると、自転車の保有割合は低下傾向にあり、全国を対象とした調査によると、2018 年から 2021 年の 3 年間で保有世帯は 6.7 ポイント減少している。

全国的な自転車所有率の変化



出典：自転車保有割合の変化「2021 年度自転車保有並びに使用実態に関する調査報告書」
（一社）自転車産業振興協会

自転車所有率が低下している要因の一つに、物価高が考えられる。消費者物価指数によると、自転車の2020年の価格を100とした物価指数は、2021年中頃から上昇傾向にある。自転車活用推進計画のアンケートを実施した時点（2019年11月）と今回アンケートの実施時期（2023年11月）を比較すると、今回は前回に比べて指数は5.7%上昇している。



消費者物価指数（自転車）の推移

出典：消費者物価指数（総務省統計局）

2 保有する自転車の種類の変化

シティサイクルが減少した一方で、クロスバイクや電動アシスト自転車は増加がみられた。ファットバイクや大人向け三輪自転車も回答があった。

シティサイクル以外の多様な自転車が、わずかながら増加している。



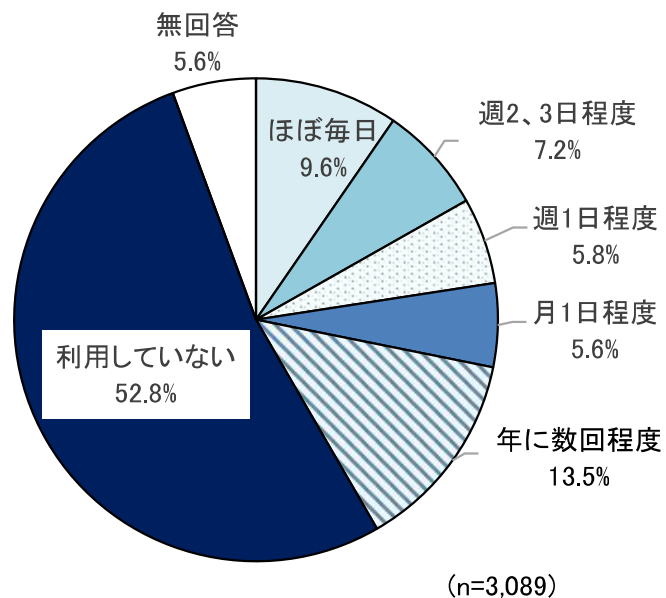
自転車を利用する頻度

問 2

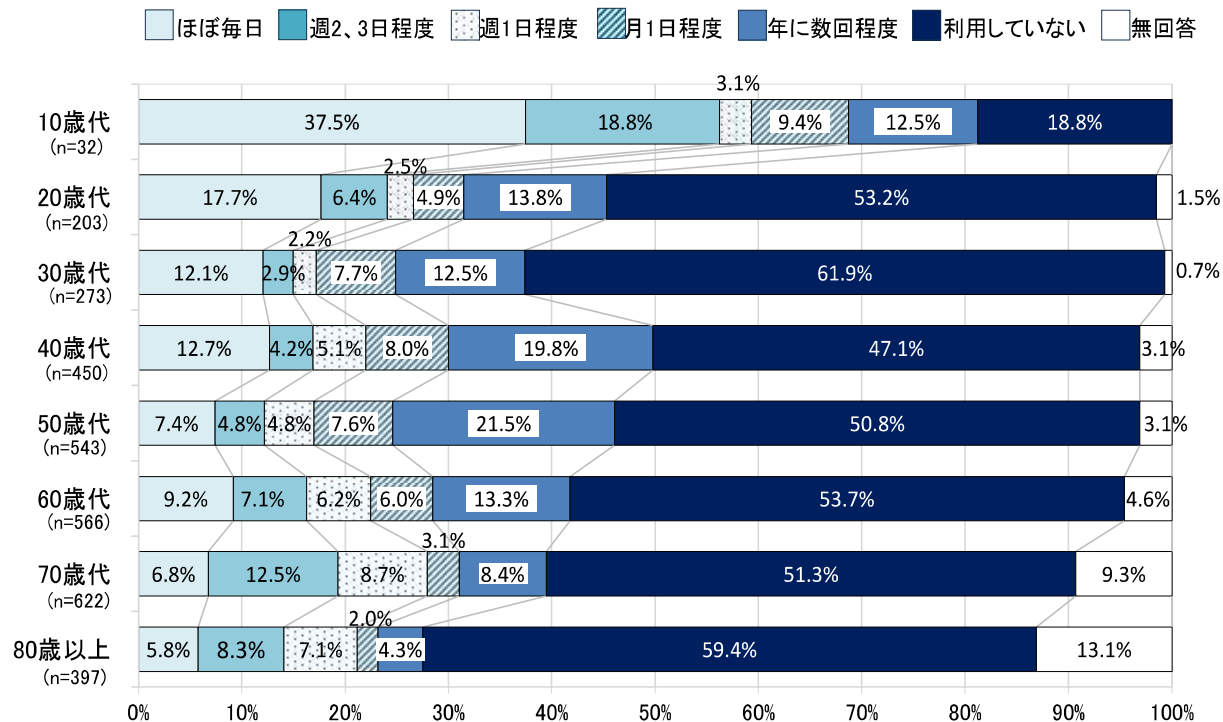
あなたは日ごろ、自転車をどのくらいの頻度で利用しますか。

自転車を利用する頻度は「年に数回程度」が 13.5%、「ほぼ毎日」が 9.6%、「週 2、3 日程度」が 7.2%。「利用していない」が 52.8%で最も高かった。

年代別では、「ほぼ毎日」は 10 歳代で 37.5%、20 歳代で 17.7%と高い。30 歳代は「利用していない」が 61.9%で、唯一の 6 割台。



年代別

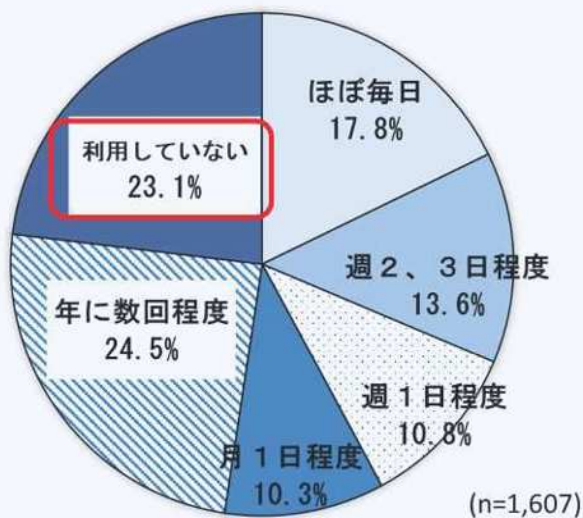


【前回との比較】

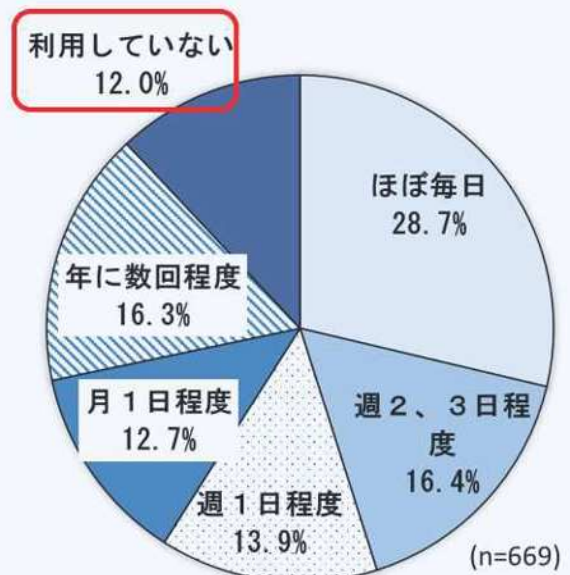
1 「利用していない」と答えた人の大幅な増加

前回の調査は、「自転車を持有している」と回答した者のみが利用に関する設問に回答し、「無回答」を除いて分析しているため、調査対象を揃え、今回調査の「問1」で「自転車を持っている」と回答した者で「無回答」を除き比較を行った。
この場合で行った比較でも、利用する頻度は減少している。

【今回】



【前回】



自転車を利用する主な目的

問3

(問2で、自転車を利用すると答えた方にお伺いします)

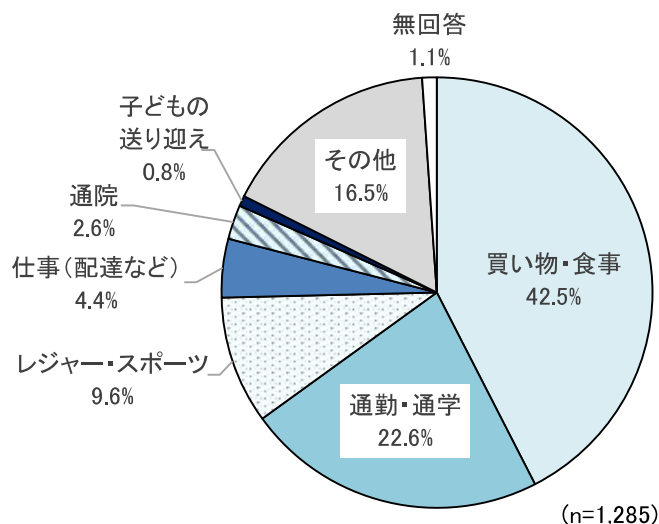
あなたが、自転車を利用する主な目的は何ですか。次の中から、1つに絞ってお答えください。

前問で自転車を利用していると答えた1,285人に主な目的を聞いた。

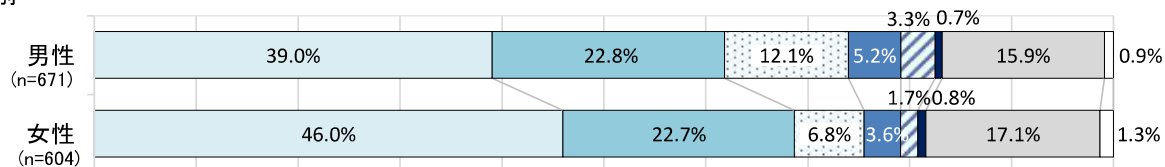
「買い物・食事」が42.5%で最も高く、「通勤・通学」が22.6%、「レジャー・スポーツ」が9.6%。

女性は「買い物・食事」が男性より7.0ポイント高く、男性は「レジャー・スポーツ」が女性より5.3ポイント高い。

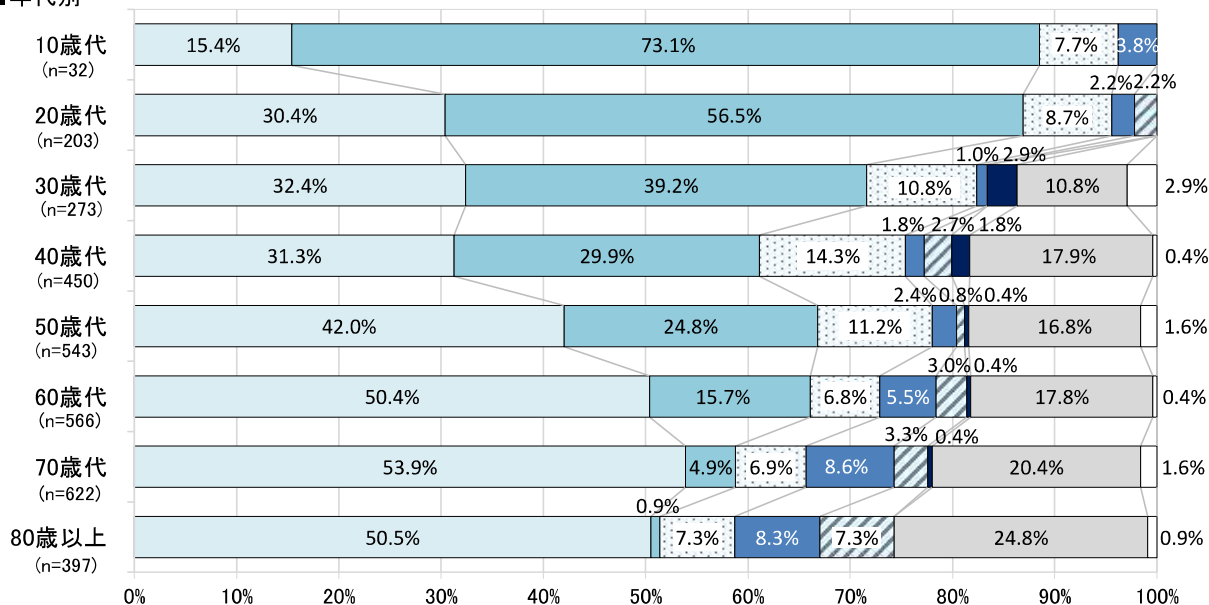
60歳代～80歳以上は「買い物・食事」が半数を超え、10歳代～30歳代は「通勤・通学」が高い。



■性別

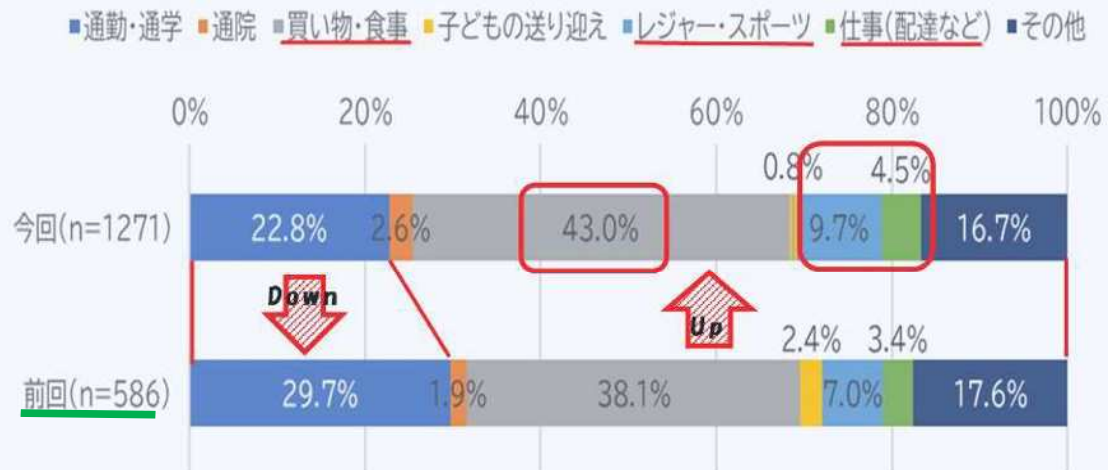


■年代別



【前回との比較】

「通勤・通学」が減少し、「買い物・食事」や「レジャー」「仕事」で増加がみられる。
(無回答を除いて比較)



自転車を利用する主な理由

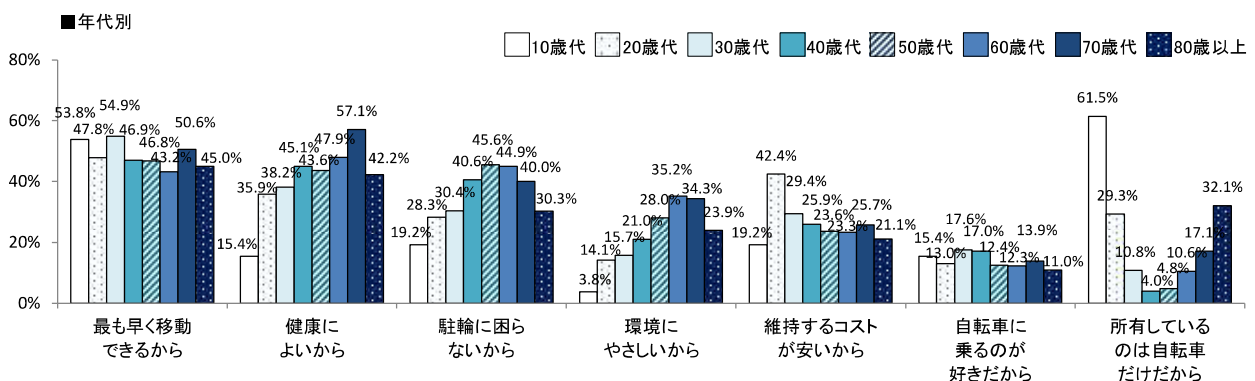
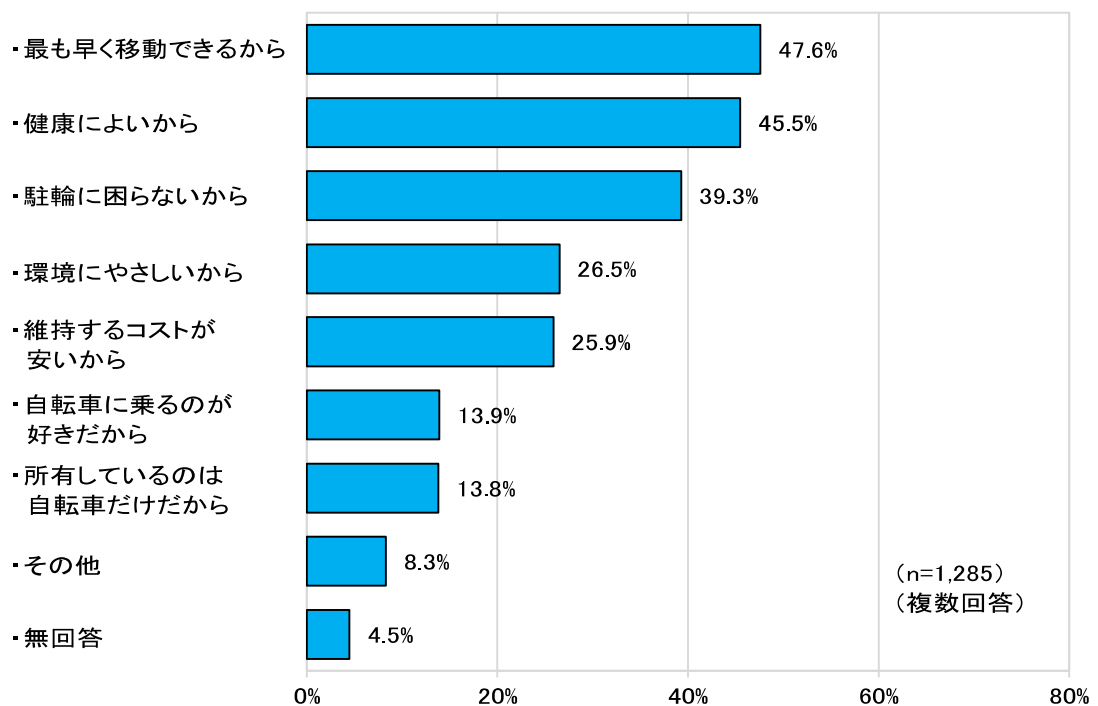
問4

(問2で、自転車を利用すると答えた方にお伺いします)

あなたが、自転車を利用する主な理由は何ですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

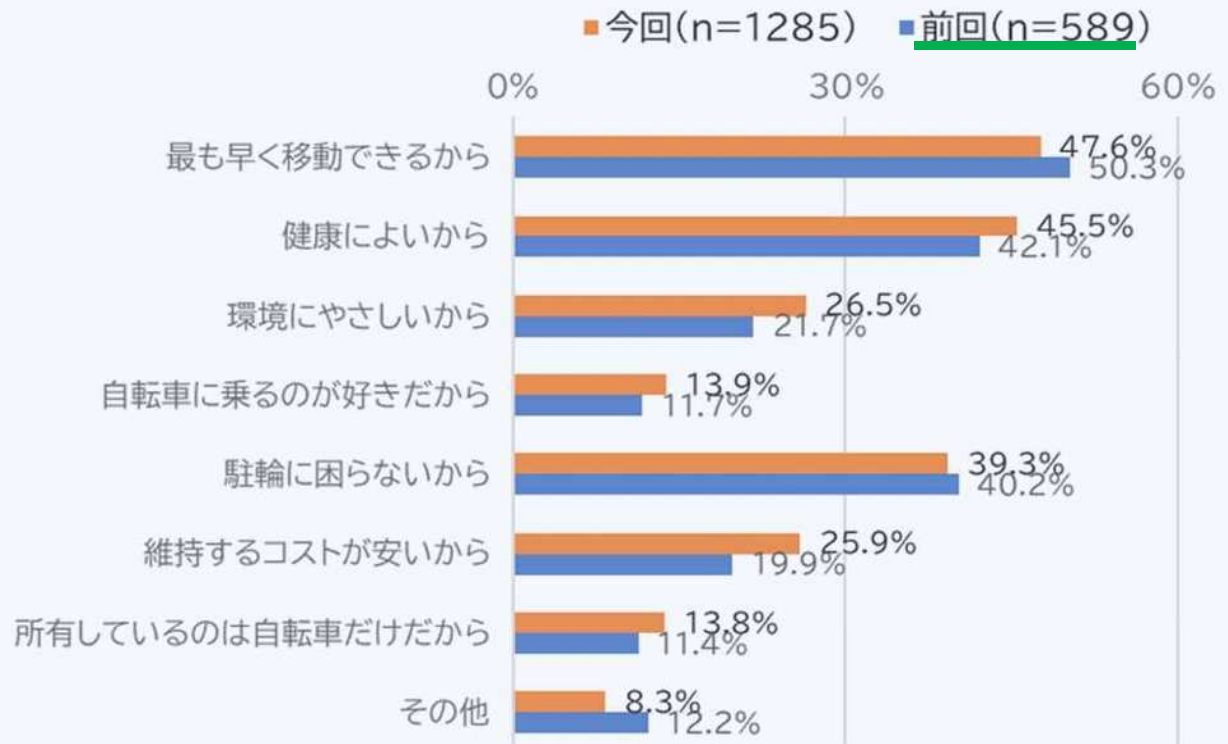
自転車を利用する主な理由は「最も早く移動できるから」が47.6%、「健康によいから」が45.5%で並び、「駐輪に困らないから」が39.3%、「環境にやさしいから」が26.5%、「維持するコストが安いから」が25.9%で続く。

10歳代は「所有しているのは自転車だけだから」が61.5%、70歳代は「健康によいから」が57.1%でそれぞれ最も高く挙げている。



【前回との比較】

回答者比でみると、回答者比率の傾向はほぼ同程度となっている。



自転車を利用する際の移動距離

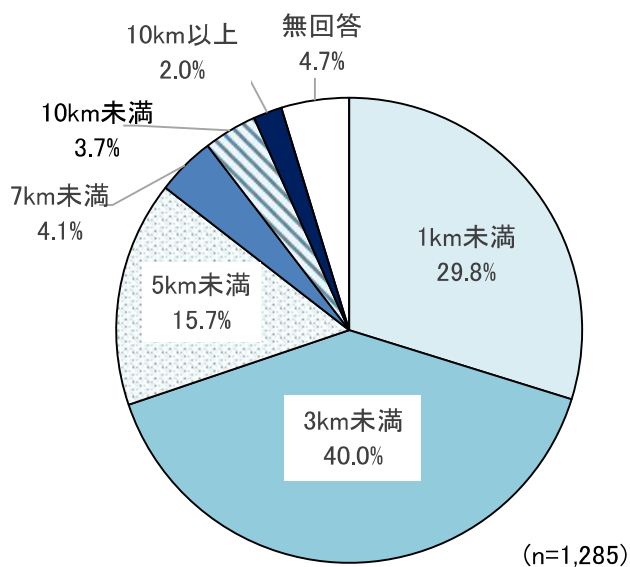
問5

(問2で、自転車を利用すると答えた方にお伺いします)

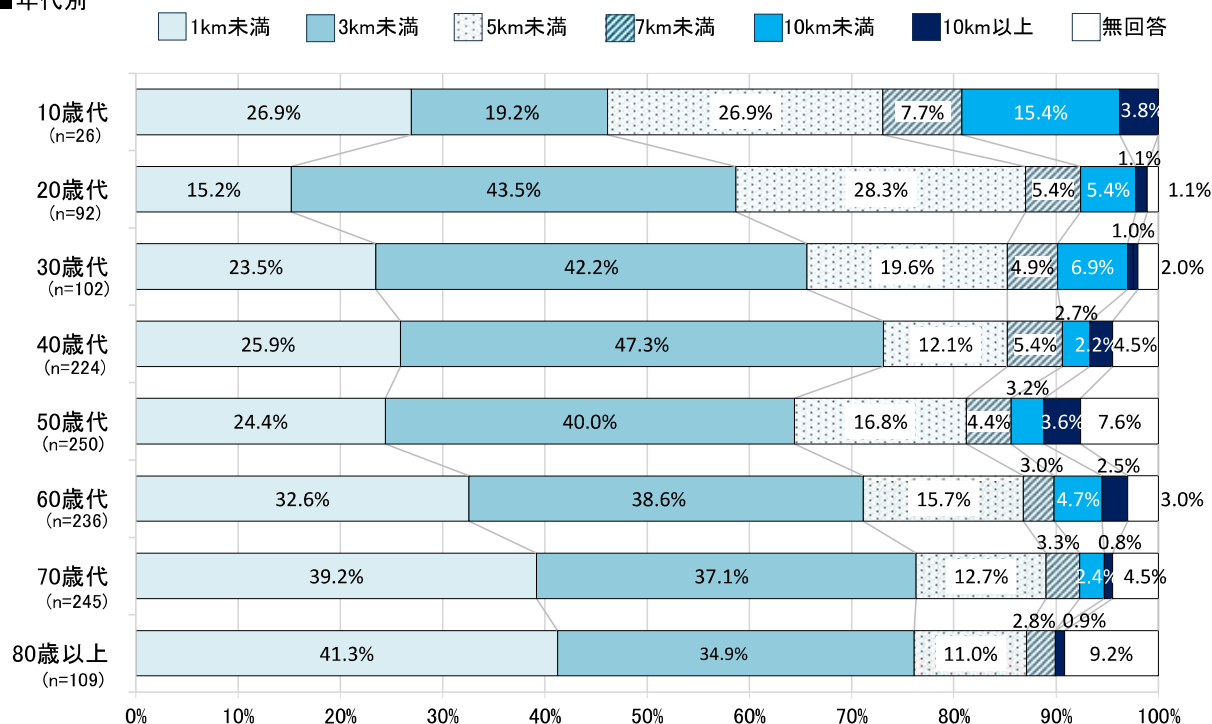
あなたが、自転車を利用する際、移動距離はおよそどれくらいですか。

自転車利用時の移動距離を聞いた。
「3km未満」が40.0%、「1km未満」
が29.8%で、全体の7割が3km未満
と回答した。

10歳代と20歳代は「5km未満」が
それぞれ26.9%、28.3%と高い。



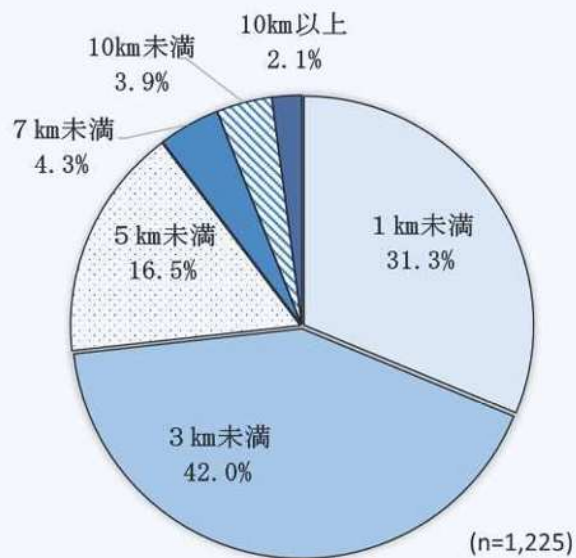
年代別



【前回との比較】

全体的に大きな変化は見られなかった。
(「無回答」を除いて比較)

【今回】



【前回】



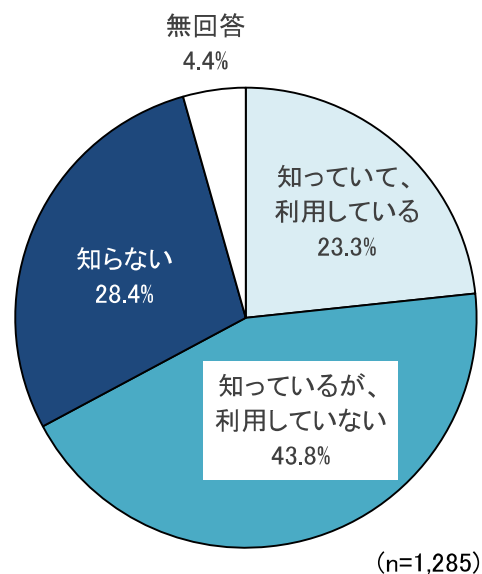
市営駐輪場を知っているか

問6

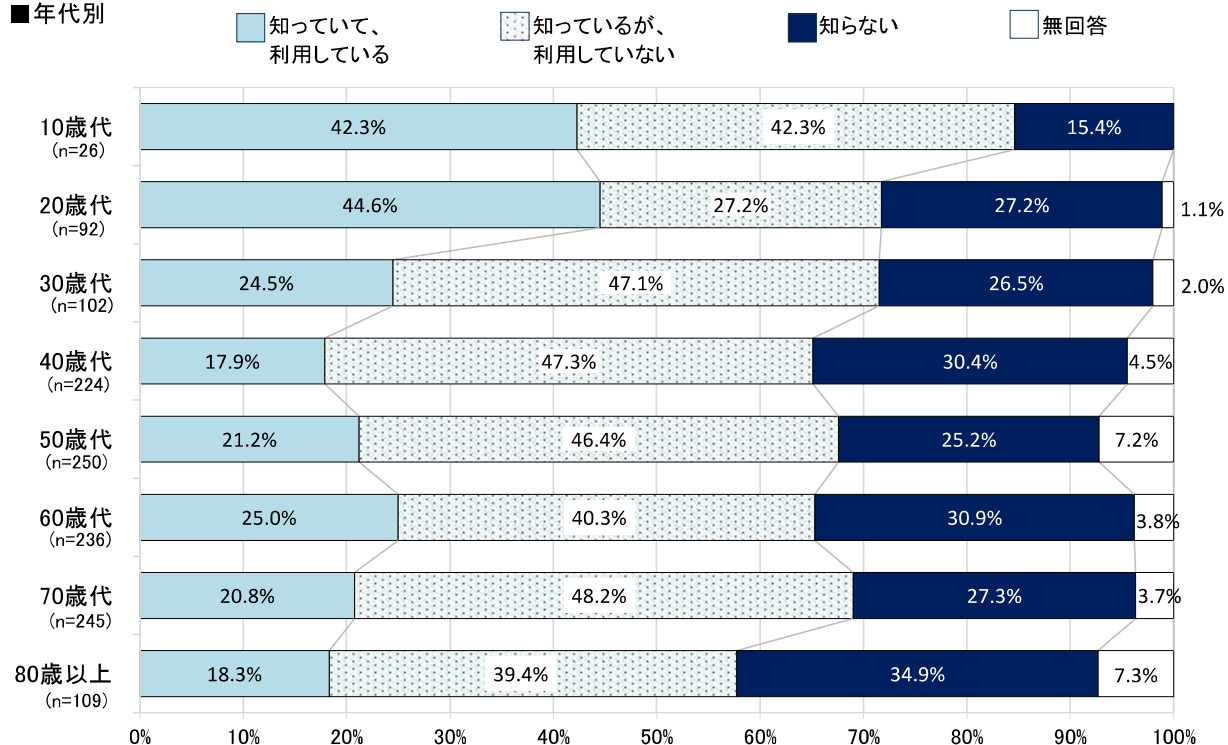
（問2で、自転車を利用すると答えた方にお伺いします）
あなたは、主に駅の周辺にある市営駐輪場を知っていますか。

市営駐輪場について、「知っていて、利用している」と答えたのは23.3%で、「知っているが、利用していない」は43.8%。「知らない」は28.4%。

10歳代と20歳代は「知っていて、利用している」が4割台と高い。



年代別



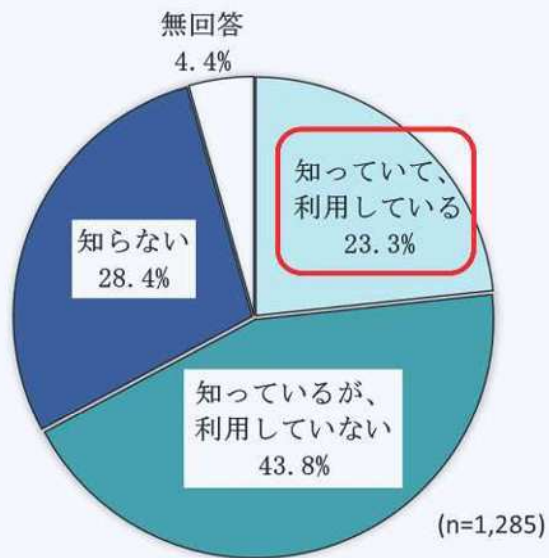
【前回との比較】

前回調査で「自転車を利用しているか」の設問に「利用していない」と回答した者を除いて分析し、比較を行った。

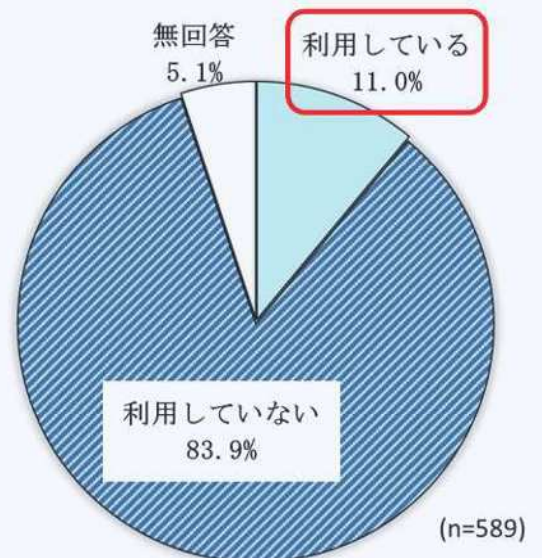
市営自転車駐車を「利用している」と回答した者が増加した。

「知っている」との回答も 67.1% となり、認知度は高い。

【今回】



【前回】



対人賠償保険に加入しているか

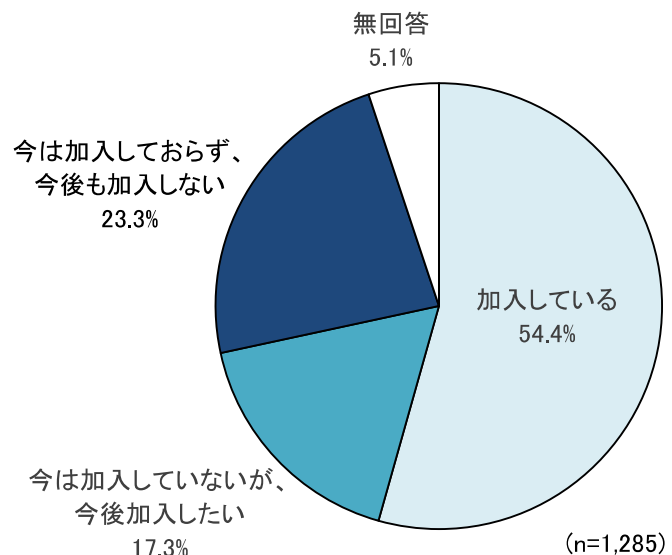
問 7

(問 2 で、自転車を利用すると答えた方にお伺いします)

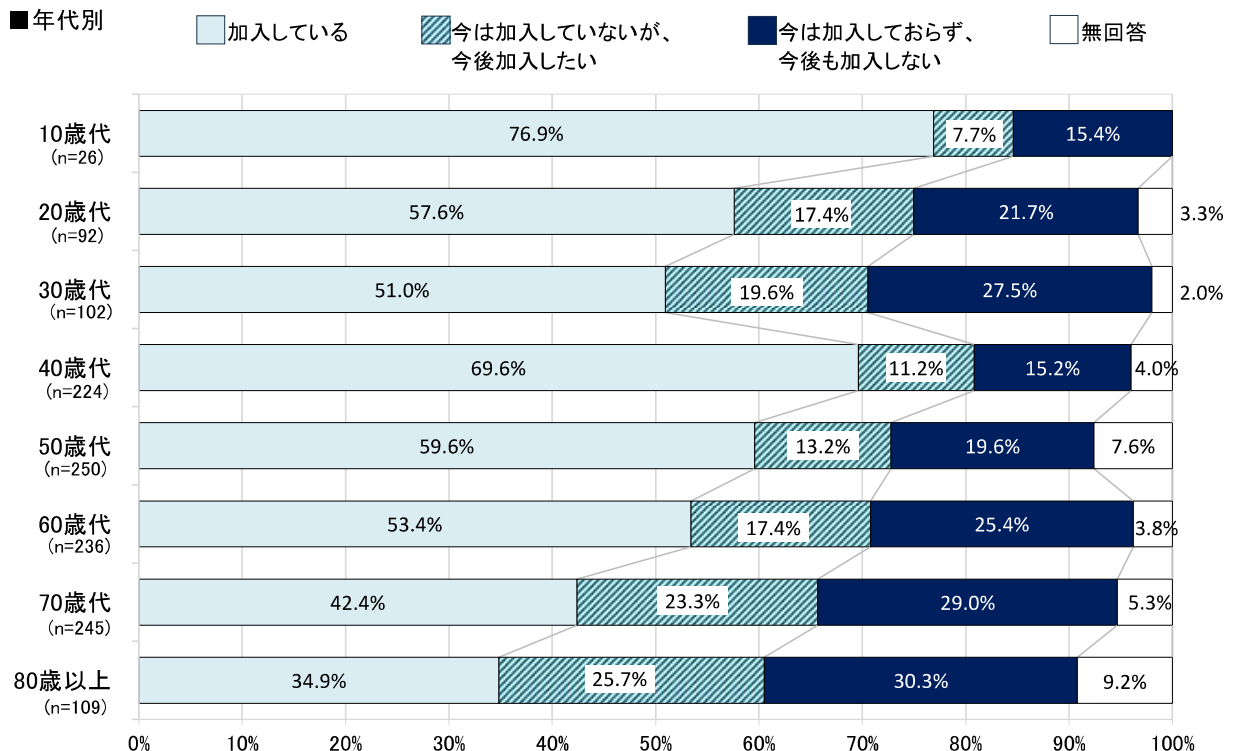
自転車保険について伺います。あなたは、対人賠償(相手にケガ等を負わせてしまった場合の賠償)を補償する保険等(TS マーク※・共済を含む)に加入していますか。

対人賠償を補償する保険等に「加入している」と回答したのは 54.4%。「今は加入していないが、今後加入したい」は 17.3%、「今は加入しておらず、今後も加入しない」は 23.3%。

10 歳代と 40 歳代は「加入している」が 7 割前後と高い。



■年代別

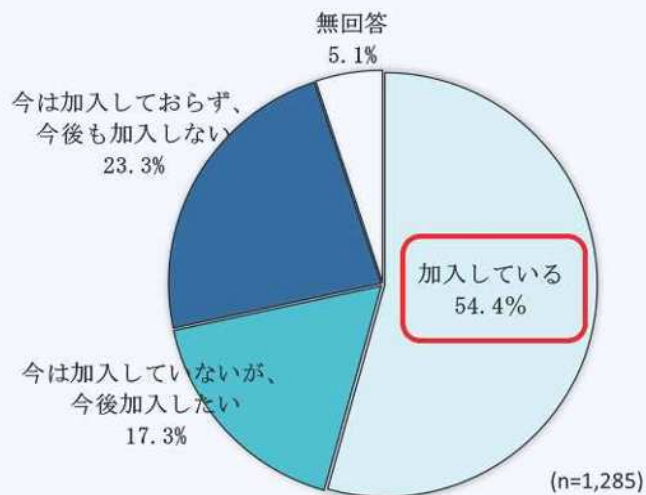


【前回との比較】

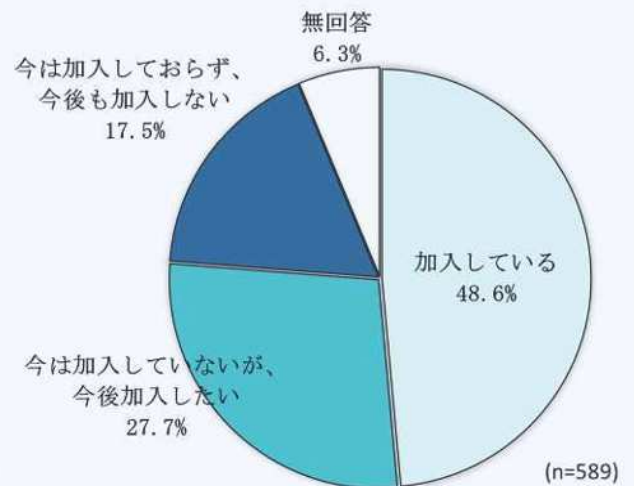
前回調査で「自転車を利用しているか」の設問に「利用していない」と回答した者を除いて分析し、比較を行った。

「加入している」が5割を超えた。 自転車保険加入への意識は高まっている。

【今回】



【前回】

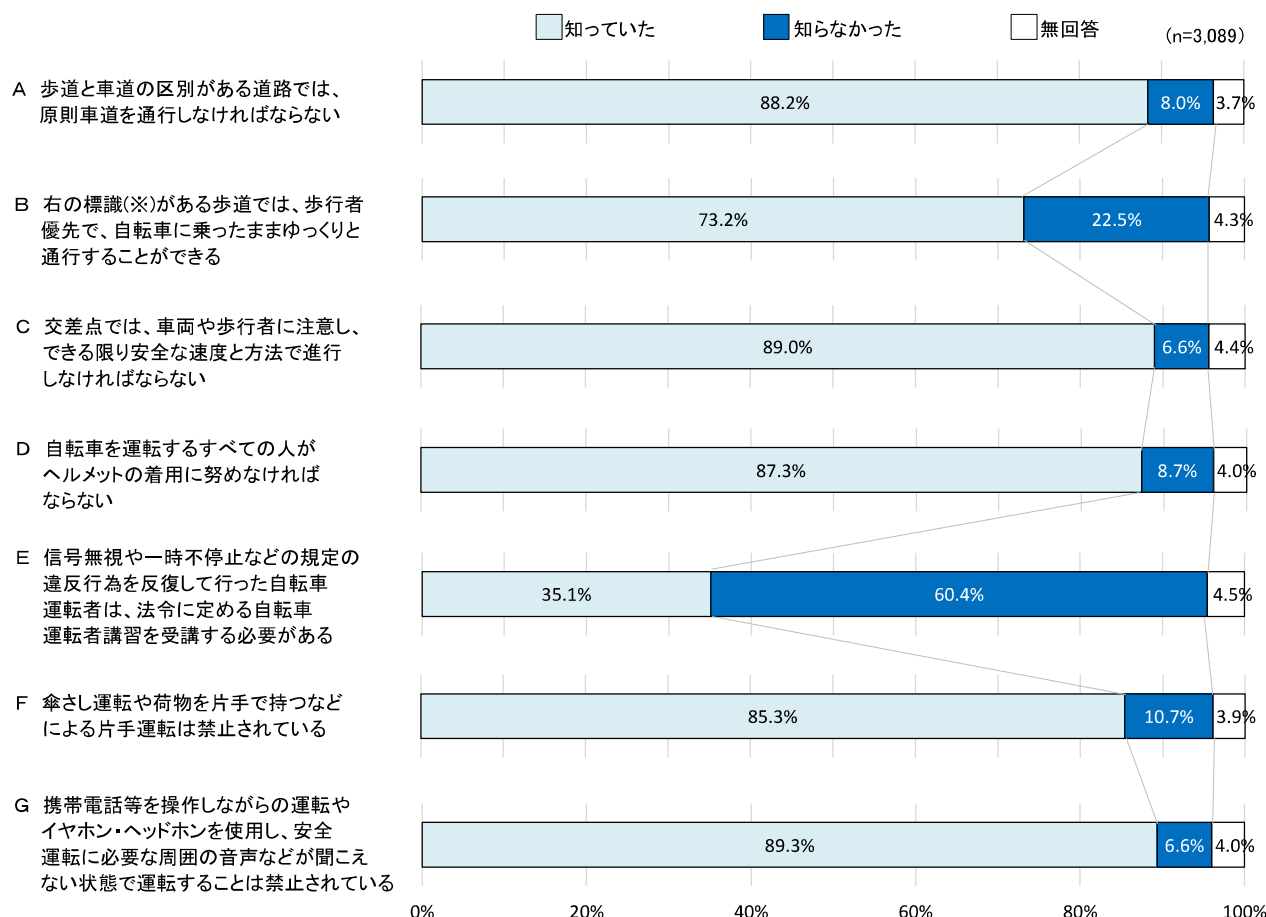


自転車の交通ルール

問8

あなたは、自転車の交通ルールを知っていますか。次の A～G について、該当する番号に○印を付けてください。

自転車の交通ルールを知っているかどうか、7項目にわたって尋ねた。「知っていた」が最も高かったのは「G 携帯電話等を操作しながらの運転やイヤホン・ヘッドホンを使用し、安全運転に必要な周囲の音声などが聞こえない状態で運転することは禁止されている」の 89.3%で、「C 交差点では、車両や歩行者に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない」が 89.0%、「A 歩道と車道の区別がある道路では、原則車道を通行しなければならない」が 88.2%で続く。「知っていた」が最も低かったのは「E 信号無視や一時不停止などの規定の違反行為を反復して行った自転車運転者は、法令に定める自転車運転者講習を受講する必要がある」の 35.1%だった。属性別では、大きな違いは見られない。



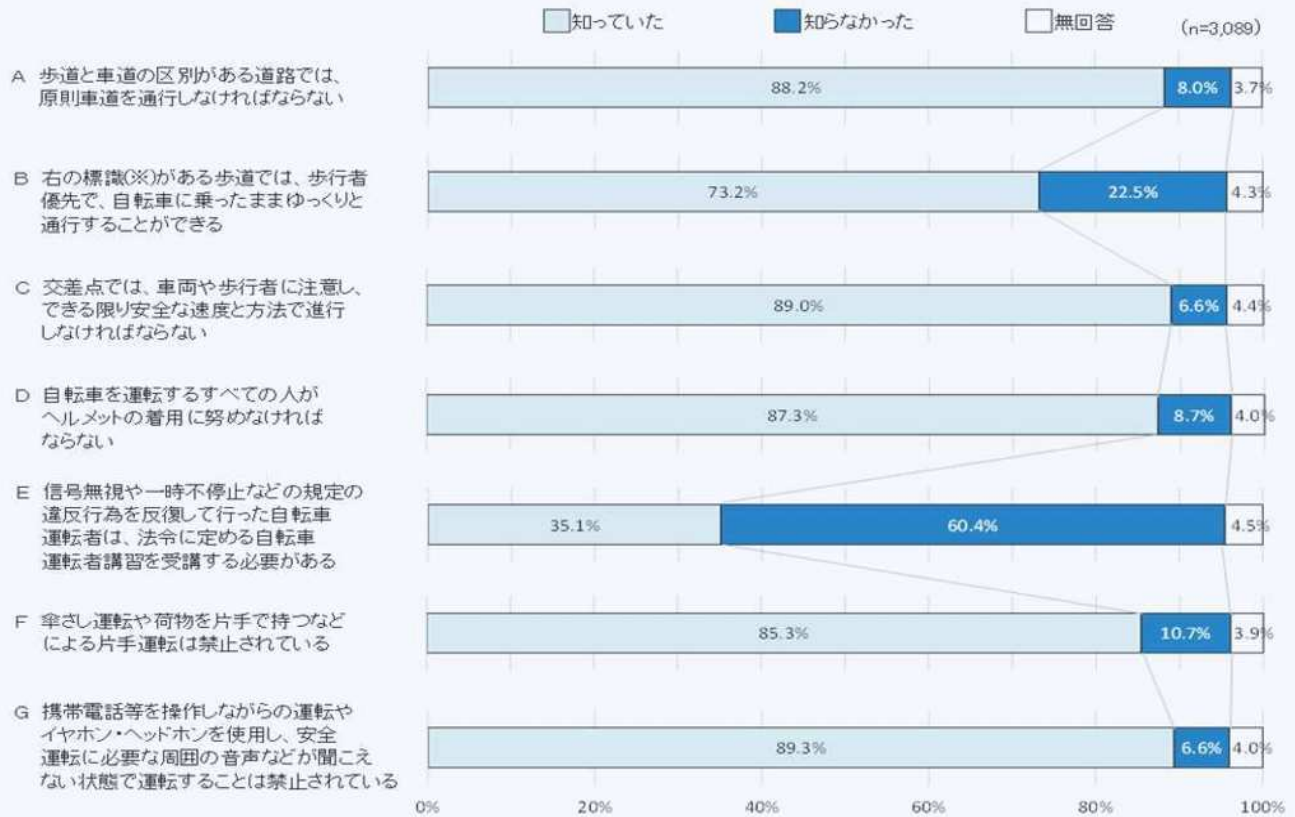
※



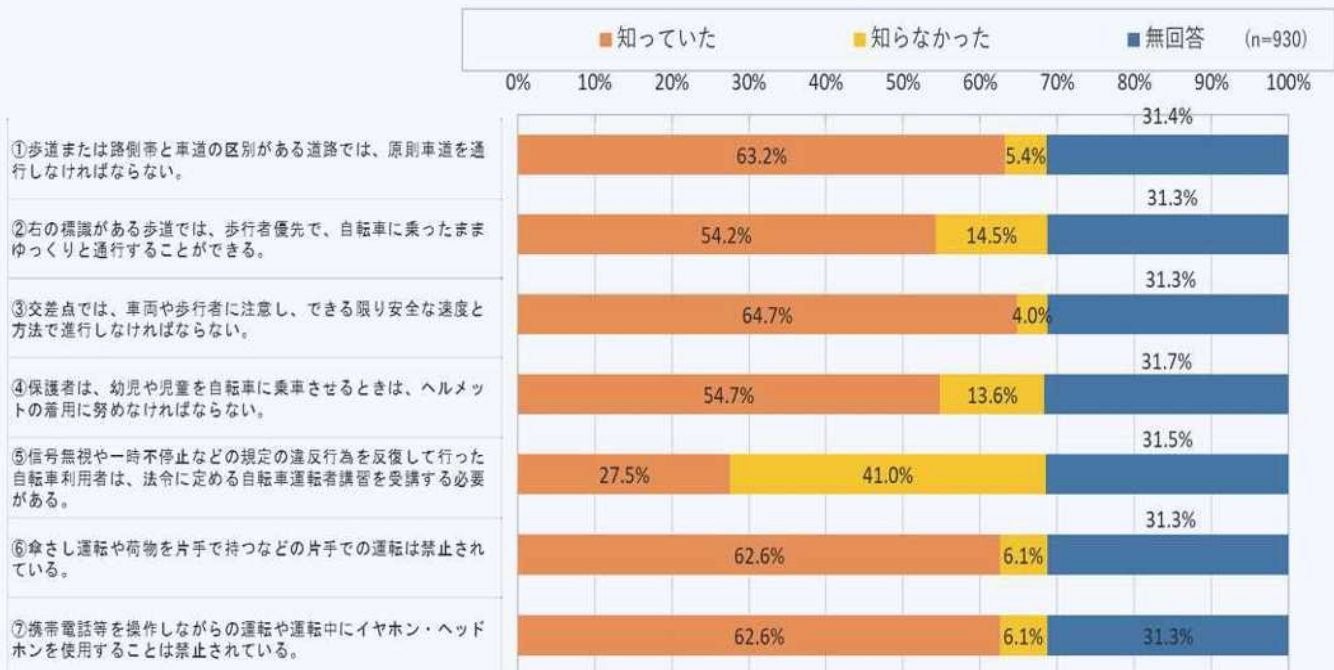
【前回との比較】

全ての項目で「知っていた」が増加した。

【今回】



【前回】



電動キックボードの使用経験

問9

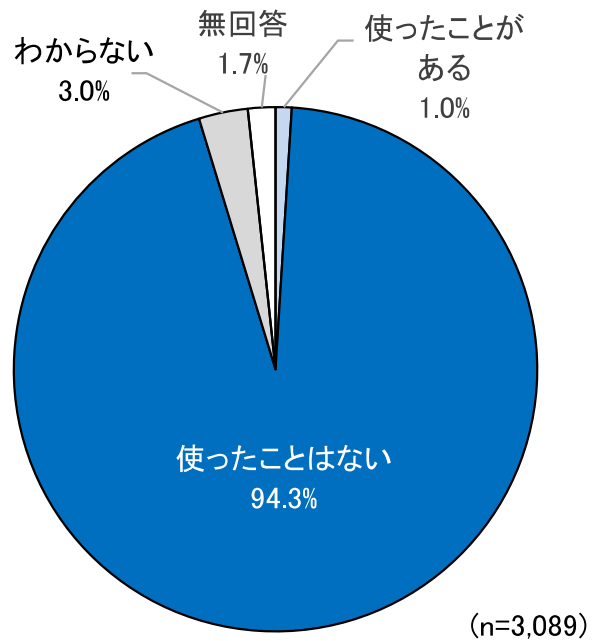
あなたは、市内で写真(※)のような「電動キックボード」を使ったことがありますか。

市内で電動キックボードを使ったことがあるか聞いたところ、「使ったことはない」が 94.3%と大多数を占め、「使ったことがある」は 1.0%にとどまった。

(※)



[イメージ写真出典
: 国土交通省 HP]



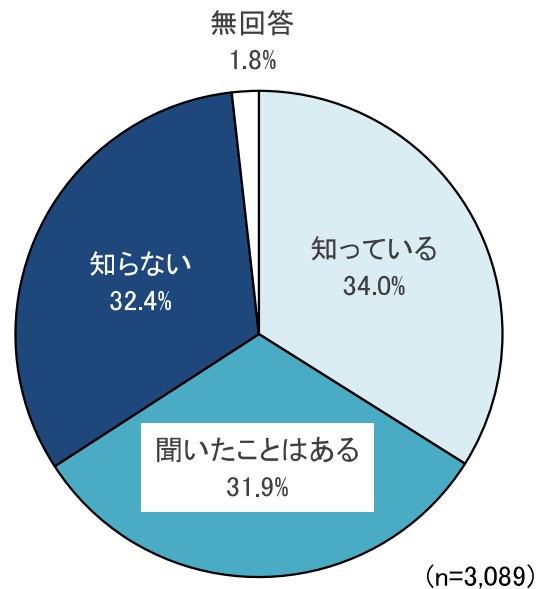
電動キックボードの交通ルールを知っているか

問10

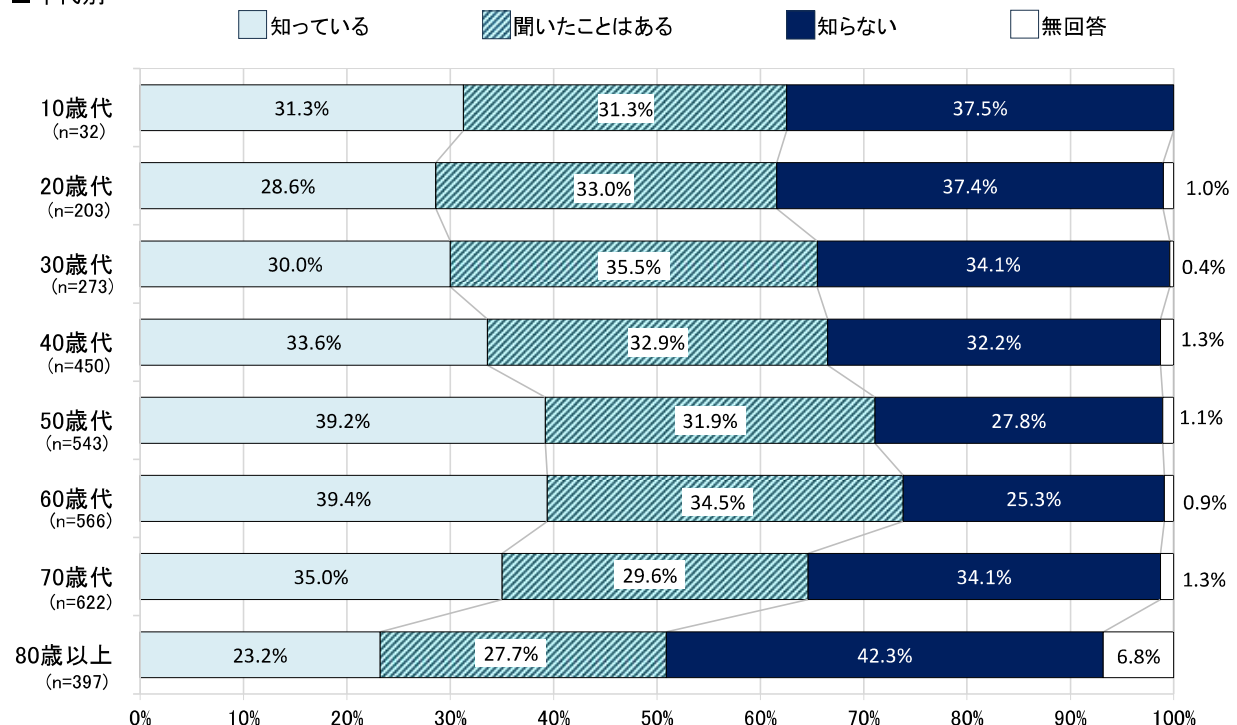
「電動キックボード」について、今年7月に、交通ルールが変わったこと(運転免許が不要になる、条件により歩道を走行できるようになるなど)を知っていますか。

電動キックボードについて、今年7月に交通ルールが変わったことを「知っている」と答えたのは34.0%で、「聞いたことはある」は31.9%、「知らない」は32.4%と、3割台で並んだ。

年代別では、80歳以上は「知らない」が42.3%と高く、10歳代と20歳代も37%台と高め。



年代別



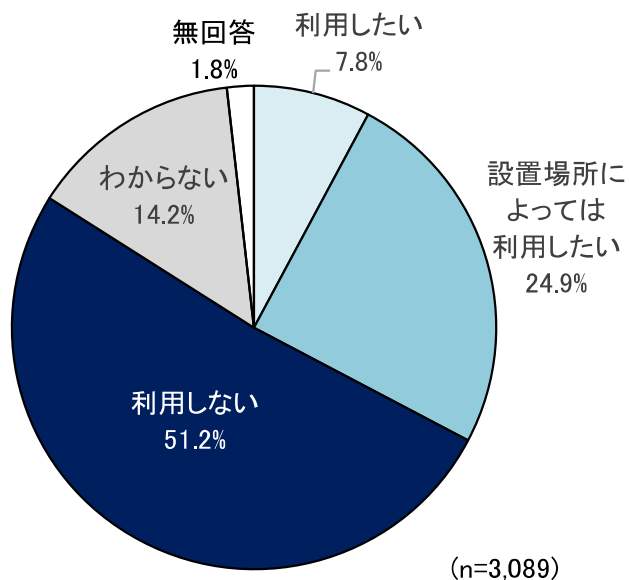
シェアサイクルやレンタサイクルの利用意向

問 11

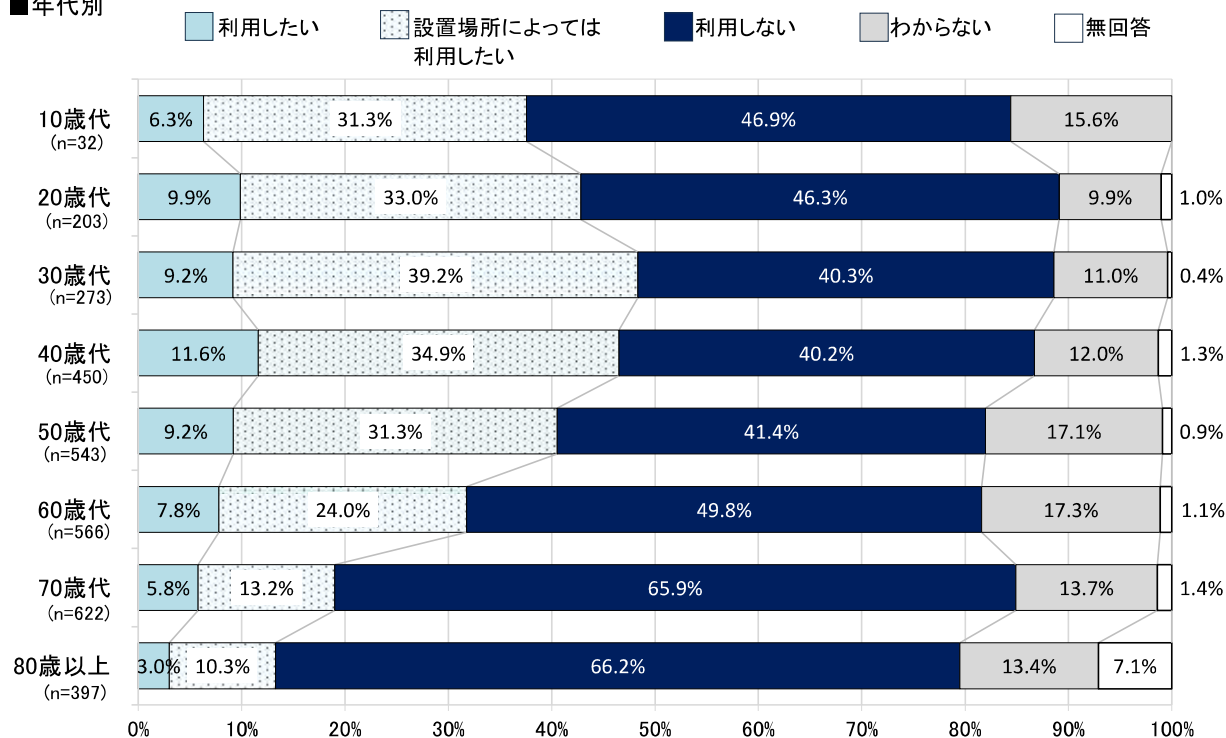
あなたは、長野市内にシェアサイクルやレンタサイクルなどの、有料で借りることができる自転車が導入されたら、利用したいと思いますか。

長野市内でシェアサイクルやレンタサイクルなどの有料で借りることができる自転車について、「利用したい」は7.8%、「設置場所によっては利用したい」は24.9%で、合わせて32.7%。対して「利用しない」は51.2%と高い。

年代別では、30代で「設置場所によっては利用したい」が39.2%と高めだが、すべての年代で「利用しない」が高い結果となった。



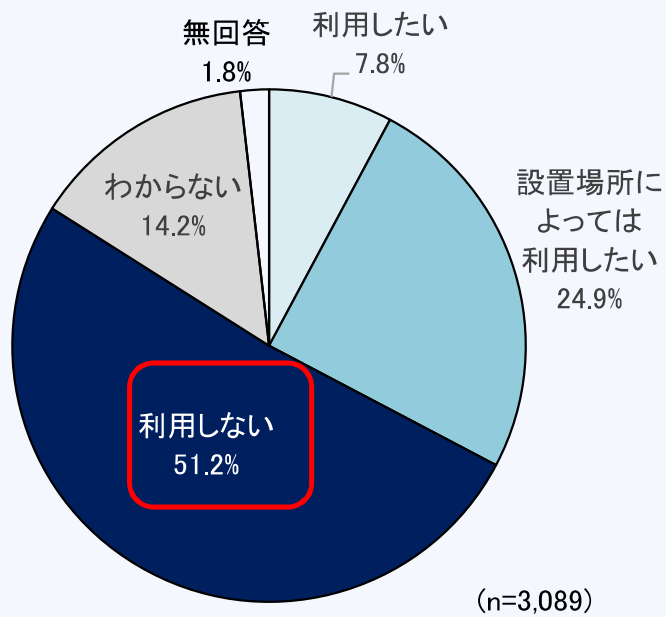
年代別



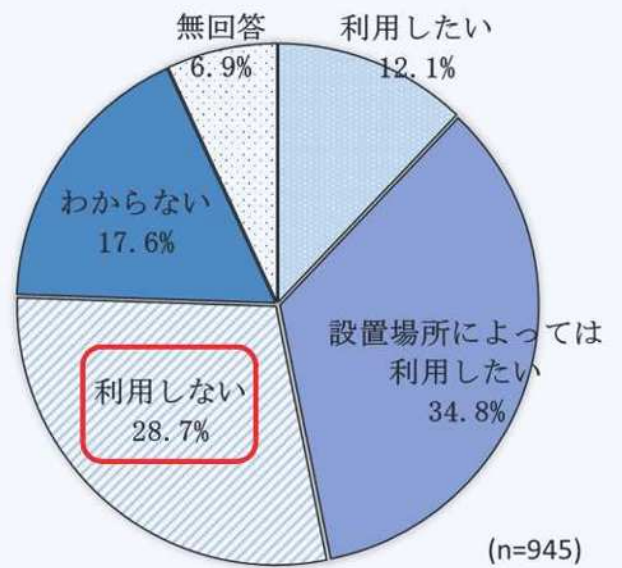
【前回との比較】

「利用したい」「設置場所によっては利用したい」が減少し、「利用しない」が増加した。

【今回】



【前回】



長野市の自転車に関する取り組みへの満足度

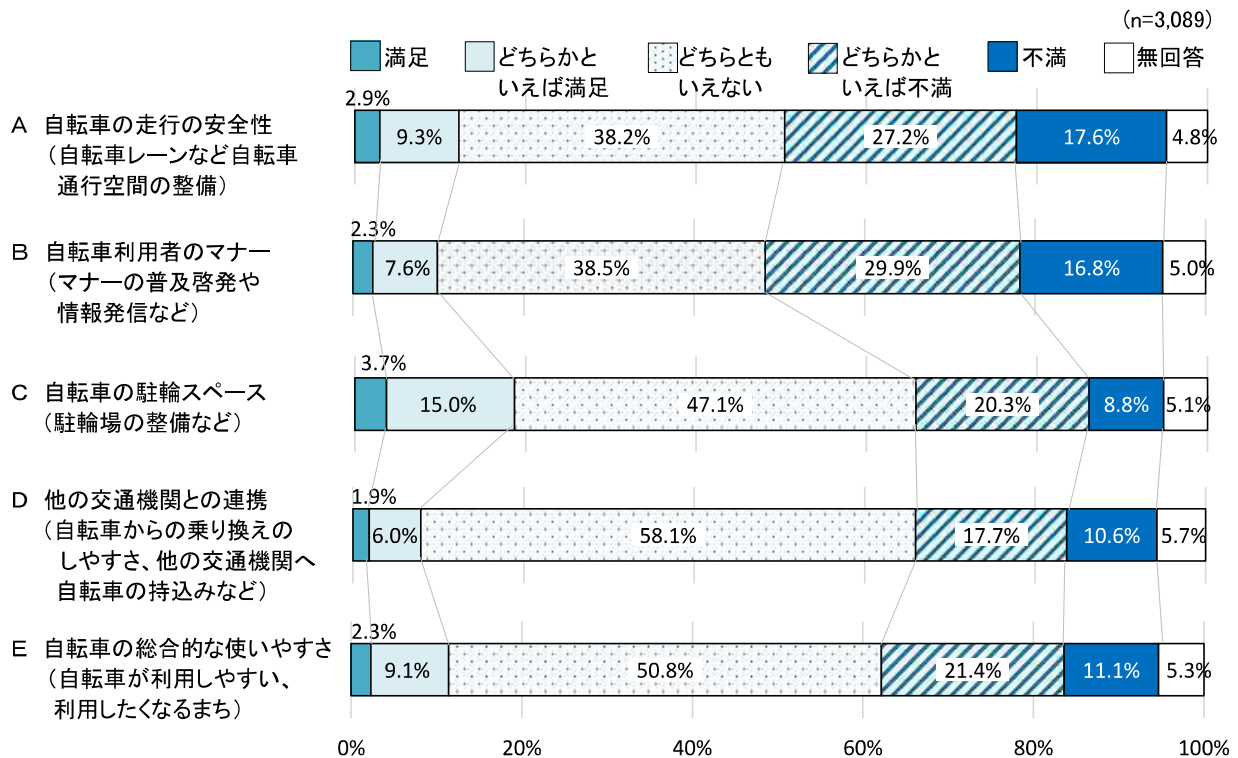
問12

長野市の自転車に関する取り組みへの満足度はいかがですか。次のA～Eについて、該当する番号に○印を付けてください。

長野市の自転車に関する取り組みの満足度を、5項目にわたって聞いた。

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が最も高かったのは「C 自転車の駐輪スペース（駐輪場の整備など）」の18.7%で、「A 自転車の走行の安全性（自転車レーンなど自転車通行空間の整備）」が12.2%、「E 自転車の総合的な使いやすさ（自転車が利用しやすい、利用したくなるまち）」が11.4%で続く。最も低かったのは「D 他の交通機関との連携（自転車からの乗り換えのしやすさ、他の交通機関へ自転車の持込みなど）」の7.9%だった。

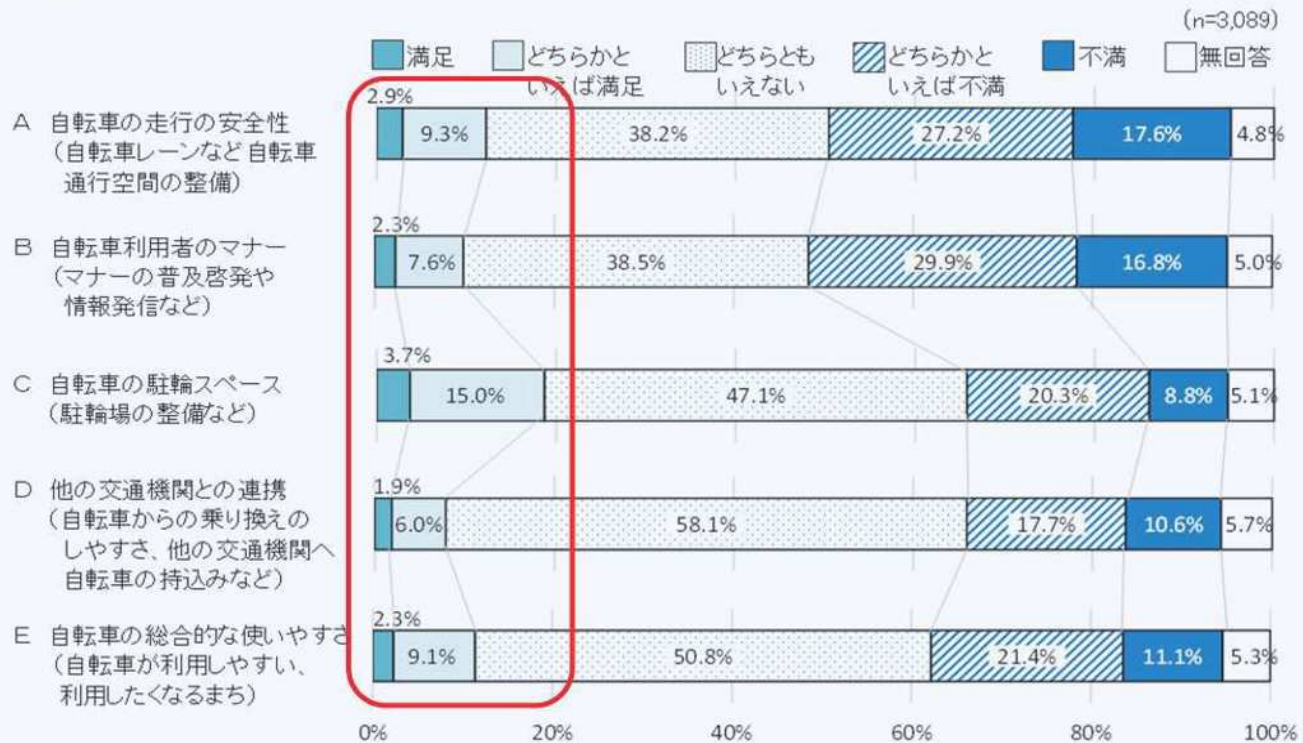
年代別では、60歳代は「B 自転車利用者のマナー（マナーの普及啓発や情報発信など）」の不満足度（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）が58.7%と高い。



【前回との比較】

「満足」「どちらかという満足」が全体的に増加した。

【今回】



【前回】

